

公益社団法人 地盤工学会
基 準 部 会
 平成 26 年度第 3 回 議事録 (案)

担当 峯岸邦夫 (幹事)

日時	平成 26 年 9 月 2 日 (火) 14:00~16:00					場所	地盤工学会 会議室	
部長	佐藤 毅	○	★理事	大河原 正文	○	幹事	峯岸 邦夫	○
部員	浅田 素之	○	部員	伊貝 聡司	○	部員	長田 昌彦	○
部員	仙頭 紀明	○	★部員	高柳 剛	×	部員	塚本 良道	×
部員	浜田 英治	○	部員	平井 貴雄	○	部員	藤原 照幸	○
★部員	宗像 保男	○	オブザーバー	中川 直	×			

★：H26 年度新任 ○：出席予定 ☆：出席（電子会議） ◎：代理出席 ×：欠席予定 △：未定

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料-26.3.0	平成 26 年度 第 2 回基準部会議事録案
資料-26.3.1	基準英訳に関する実行委員会構成案
資料-26.3.2	基準英訳寄付金試算表
資料-26.3.3	「グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説」の英語版に関する覚書
資料-26.3.4	地盤工学用語の標準記号について
資料-26.3.5	地盤工学用語の標準記号 (H26 最終版)
資料-26.3.6	新規制定基準(案)の基準番号について
資料-26.3.7	理事会 (H26/7/24) 報告資料
資料-26.3.8	ISO/TC190 海外出張
資料-26.3.9	地盤工学表記法委員会 H26 第 2 回 (7 月 10 日開催) 報告資料
資料-26.3.10	室内試験規格・基準委員会 会員からの質問と回答
資料-26.3.11	技能試験参加機関リスト (最終 6 6 機関)
当日追加資料	地盤調査規格・基準委員会 第 1 回議事録
当日追加資料	同上 WG3 メンバー表 (リーダー交代)
当日追加資料	同上 WG3・WG10 の活動報告
当日追加資料	同上 WG11 活動報告
回覧資料 1	技能試験参加者宛試料送付状
回覧資料 2	地盤調査規格・基準委員会 「地下水流向流速解説書(最終版)」

審議事項

1. 前回議事録の確認 (資料-26.3.0, pp.1-6)
前回議事録(案)を原案通り承認した。
2. 全体関係
 - (1) 平成26年度基準部の活動について(継続)
 - ①中期目標における基準の英文化に関する、地盤工学としての戦略に関して (資料-26.3.1, pp.7-8)
(資料-26.3.2, pp.9-12)
 - ・佐藤部長より、資料に基づき説明があり、今年度は企業(特別会員)からの寄付で活動費をまかない、10月に科研費の申請を行うことになった。また、アジア会議において配布できるように作業を進めることが確認された。
併せて、基準部会開催の午前に、佐藤部長と末岡特別顧問がJICAを訪れ、資金的な協力を依頼してきたことが報告された。
 - ②試験基準のISO化に際しての確認事項に関して (資料-26.3.3, pp.13-15)
 - ③その他 (資料-26.3.3, pp.13-15)
 - ・佐藤部長より、資料に基づき日特建設による「グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説」の英訳に関する覚書(案)が説明され、承認された。
3. 委員等の異動
 - (1) 室内試験規格・基準委員会
 - (2) 地盤調査規格・基準委員会 (別添資料)
 - ・浜田委員より、別添資料に基づき地盤調査規格・基準委員会において牧角委員→栗津委員、WG3の中村リーダー→進士新リーダーの交代が説明され、承認された。
 - (3) ISO国内委員会
 - ①WG10 新任委員(TC190国内委員会)
新任委員として、田本修一、山田優子両氏の推薦があり、承認された。
 - ・田本修一 氏(寒地土木研究所)
(理由)地盤環境関連の研究を官の研究所の立場で続けてこられた。今回地盤工学会委員会での活動からカラム試験ISO化の検討が行われておりその中核的な立場の技術者として推薦したい。
 - ・山田優子 氏(応用地質株式会社)
(理由)地盤環境関連の研究及び調査業務の実務者として長年携わっている。今回TC190SC2主査中島氏よりSC2サンプリング見直し業務にあたって実務に通じた研究者として強力な推薦があった。
 - (4) 地盤設計・施工基準検討委員会
 - (5) 表記法検討委員会
 - (6) 技能試験実施委員会
 - (7) 部員の異動
4. ISO国内委員会 関係
5. 地盤工学表記法委員会 関係
 - (1) 地盤工学用語の標準記号について (資料-26.3.4, p.16)
 - (2) 地盤工学用語の標準記号(H26最終版) (資料-26.3.5, pp.17-22)
 - ・伊貝委員より、資料に基づき地盤工学用語の標準記号について、量記号のフォントは指定しないことなどを明文化したことが説明され、審議の結果承認された。また、「せん断抵抗角(内部摩擦角)を示す”ファイ”は、”φ”で表記することになった。
6. 室内試験規格・基準委員会 関係
 - (1) 新規制定基準(案)の基準番号について (資料-26.3.6, p.23)
 - ・藤原委員より、資料に基づき「岩石の一軸引張り試験方法」、「過酸化水素水による土および岩石の酸性化可能性試験方法」の基準番号について提案があり、原案通り、それぞれJGS2552とJGS0271に決まった。
7. 地盤調査規格・基準委員会 関係
 - ・「地下水流向流速解説書(最終版)」を回覧し、承認された。
 - ・「動的コーン貫入試験方法」の最終案が承認された。 (当日追加資料,PP.4-12)
8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

9. 技能試験実施委員会 関係

10. 基準部所管刊行物

11. その他

- ・平成 27 年度予算については、事務局案を作成後、基準部で審議することになった。締切は 10 月末。
- ・平成 27 年度年間活動計画で、浜田委員および藤原委員より、試験法で新たに改正検討を始めたい規格・基準として「土の粒度試験」、調査法で基準化に向けて設置したい WG として「動的コーン」と「不飽和地盤の現場透水試験」が提案され、承認された。

報告事項

1. 理事会（H26/7/24、8 月休会）開催報告 （資料-26.3.7, pp.24-28）

- ・佐藤部長より、資料に基づき理事会報告があり、基準部関連では以下のことが示された。
 - ・基準の英訳化に関する寄付について承認された。
 - ・平成 27 年度予算案は、減額を目標で作成する。

2. 全体関係

3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

① 平成 26 年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)	
	助成	受託			
・土木学会	100 万円		○		
・三菱総合研究所 (回答作成)	0 万円		○		
・三菱総合研究所 (旧重点TC旅費)	0 万円		○		
・日本建設業連合会	50 万円		○		
・ISO/TC190 関係 (研究委託)	50 万円		○		
・三菱総合研究所 (国際標準開発事業)		970 万円	○		
小計	200 万円	970 万円			
合計	1170 万円				

② 国際会議派遣 （資料-26.3.8, p.29-31）

- ・浅田委員より、資料に基づき「ポーランド基準局・スクリーニング会議」および「ISO/TC 190 調整会議」への出席報告がなされた。

(2) 地盤工学表記法委員会

① 委員会活動報告

（資料-26.3.9, pp.32-33）

- ・伊貝委員より、資料に基づき「第 2 回地盤工学表記法委員会」活動について報告がなされ、基準部関連委員会における意見募集について、WG メンバーに締切日が周知されていなかったため 8/31 まで延期をして行ったとのことであった。

(3) 室内試験規格・基準委員会

① 会員からの質問と回答

（資料-26.3.10, pp.34-35）

- ・藤原委員より、資料に基づき「三軸圧縮試験用供試体の作製について」の質問に対する回答について報告がなされた。

(4) 地盤調査規格・基準委員会

- ・浜田委員より、資料に基づき常設委員会 (WG3, WG10, WG11) の活動について報告がなされた。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

(6) 技能試験実施委員会

① 地盤材料試験に関する「技能試験」【平成 26 年度】

（資料-26.3.11, pp.36-37）

- ・藤原委員より、資料に基づき「技能試験」について、参加機関は 66 になったこと、9 月中旬締切りで実施することが報告された。

(7) 販売促進 WG

(8) 英文 H P

(9) 調査研究委員会企画案 (地下水関係)

4. 日本工業標準調査会 土木技術専門委員会

・利藤委員の任期が9月末で切れるが、後任は利藤委員に相談することになった。なお、任期は、10月1日から2年間。

●H26年度 基準部関係委員会開催状況

委員会名		委員会開催日, 太字は次回開催日
基準部会	佐藤 毅	5/2, 7/8, 9/2
ISO 国内委員会 ・WG1 ISO/TC182 対応 ・WG2 ISO/TC190 対応 TC190/SC3/WG10 対応 WG ・WG3 ISO/TC221 対応	今村 聡 木幡 行宏 川端 淳一 坂井 宏行 宮田 喜壽	4/23, 7/8
室内試験規格・基準委員会 ・WG1 物理特性 ・WG2 化学特性 ・WG3 透水・圧密特性 ・WG4 力学特性 ・WG5 安定化・締固め特性 ・WG6 ジオシンセティックス ・WG10 「土質試験-基本と手引き-」改訂編集 WG ・WG13 岩石の一軸引張試験基準化 WG ・WG14 過酸化水素水による土および岩石の酸性化可能性試験方法基準化 WG	川崎 了 (小口和明) (肴倉宏史) (大向直樹) (片岡沙都紀) (藤岡一頼) 木幡 行宏 大島 昭彦 谷 和夫 川地 武	6/20 6/ 11, 7/31 7/3, 8/8, 9/4 7/28
地盤調査規格・基準委員会 ・WG1 物理探査・検層 ・WG2 ボーリング・サンプリング ・WG3 地下水 ・WG4 サウンディング ・WG5 载荷試験 ・WG6 現場密度試験 ・WG7 現地計測 ・WG8 環境化学分析のためのサンプリング ・WG9 地盤調査の計画, 資料調査・地質調査 ・WG10 不飽和地盤における現場飽和と透水係数の測定方法 (仮称) ・WG11 動的コーン貫入試験方法基準化WG ・WG12 解散 ・WG13 水圧破砕による初期地圧測定法の基準化検討WG ・WG14 単孔を利用した地下水流向流速測定方法の <u>新規基準化WG</u>	利藤 房男 斉藤 秀樹 正垣 孝晴 進士 喜英 大島 昭彦 大島 昭彦 三嶋 信雄 上野 将司 江種 伸之 長田 昌彦 西垣 誠 大島 昭彦 伊藤 高敏 進士 喜英	8/12 5/26, 9/30 4/16 6/23, 9/29 4/16 5/29,
地盤設計・施工基準委員会 ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平載荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・WG5 地山補強土	木幡 行宏 本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫	
地盤工学表記法 ・WG-A	大島 昭彦	4/9, 7/10, 9/16

5. その他

- 1) 理事会（平成26年 9月26日（金））への審議事項・報告事項
審議事項：地盤工学用語の標準記号、グラウンドアンカー英訳の覚書
報告事項：ISO WGメンバー、英訳実行委員会、英訳寄付金、技能試験
- 2) 総務部会（平成26年 9月9日（火）開催予定）への提案事項
- 3) 次回以降の部会開催日
 - ・ 26年度第4回：第1案 平成26年11月11日（火）14:00～
第2案 平成26年 月 日（ ） 14:00～
（対応理事会 H26.11.28 or H26.12.24 ）
 - ・ 26年度第5回：平成27年 1月 日（ ） :00～
（対応理事会 H27.1.30 or H27.2.19 ）
- 4) 英訳実施委員会について
 - ・ 各委員にガイドライン等の資料を配付して依頼をする。
 - ・ 委嘱状の任期は3年間、委員会開催は3回／年程度を予定している。

★ 平成26年度 理事会 開催日程（予定含む）

- ① 4月23日（水） ※書面審議
 - ② 5月16日（金）
 - ★ 6月12日（木） 総会／理事会
 - ③ 6月19日（木） ※書面審議
 - ④ 7月24日（木）
 - ⑤ 9月26日（金）
 - ⑥ 10月22日（水） ※書面審議
 - ⑦ 11月28日（金）
 - ⑧ 12月24日（水） ※書面審議
 - ⑨ 1月30日（金）
 - ⑩ 2月19日（木） ※書面審議
 - ⑪ 3月13日（金）
-
- ⑫ 4月22日（水） ※書面審議
 - ⑬ 5月15日（金）
 - ★ 6月11日（木） 総会／理事会